

■ 市民環境部

I 実り多い産業と人々の集うまちづくり

§ 4 人々の交流を盛んにするしくみづくり

重○ 境川観光交流センター運営事業【憩いと安らぎの場を提供する事業】 No.4-13

II 環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり

§ 9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり

重○ 防犯灯設置維持管理事業【LED防犯灯交換費補助】 No.9-16

○ 運転免許証自主返納事業【運転免許証自主返納の推進】 No.9-17

§ 11 美しい環境を大切に作る社会づくり

重○ ごみ減量化推進事業【生活ごみの減量を推進する事業】 No.11-32

重○ ごみ処理事業【分別された生活ごみを収集する事業】 No.11-33

重○ 資源物回収事業【”捨てればごみ”分別して資源化する事業】 No.11-34

○ 衛生対策事業【快適で安心な住環境の整備】 No.11-35

§ 13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり

○ 特定健診等事業【特定健診、保健指導の実施】 No.13-37

○ 国保データヘルス事業【国保保健事業の実施】 No.13-38

○ 国保人間ドック事業【国保加入者への人間ドック助成】 No.13-39

§ 15 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり

○ 後期高齢者特定健診事業【後期高齢者の特定健診】 No.15-63

○ 後期高齢者歯科口腔健診事業【後期高齢者の歯科口腔健診】 No.15-64

§ 17 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり

重○ 消費者行政事業【消費生活センター設置事業】 No.17-68

IV 将来像実現に向けた取り組み

§ 23 市民と行政の協働によるまちづくり

○ 男女共同参画推進事業【男女共同参画社会の実現】 No.23-1

○ まちづくり推進事業【市民協働によるまちづくりの推進】 No.23-2

§ 24 親しみやすく機能的な市役所づくり

○ 個人番号カード事務費【市民の個人番号カードの適切な事務】 No.24-5

○ 住民基本台帳事務【市民の住民記録の適切な管理】 No.24-6

○ 戸籍事務【戸籍簿の適正な管理】 No.24-7

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|-------------------|----|----|----|------|------------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 4-13 境川観光交流センター運営事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 環境推進課 |
| 施策名 | 4 | 人々の交流を盛んにするしくみづくり | | | | 担当名 | 境川地域振興施設担当 | 課長名 | 中山 勲 |
| 法令根拠 | | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H29年度～) | |
| | 25 | 01 | 01 | 01 | 01 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|--|---|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 境川町寺尾地内のごみ処理施設の建設に伴い、温泉施設を併設した交流センターと緑地を整備した。 平成29年4月から新たな地域間交流の拠点として運営を行っている。交流センターの利用者数として、年間3万人の見込であったが、本年度はおよそ2倍の6万人となる見通しである。 | ◇主な事業費(単位:千円) 需用費:10,580 役務費:134 委託料:31,364 使用料及び賃借料:1,495 工事請負費:540 備品購入費:873 負担金:4,577 |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 49,563 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49,563 |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,179 |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 53,742 |
| 補助事業等 | | 地域振興施設管理運営負担金 | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|--|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 中間ごみ処理施設及び一般廃棄物最終処分場の建設に伴う、地元要望事業として地域振興施設(境川観光交流センター)を整備し、笛吹市の観光拠点となるよう事業の展開を考えていた。開業初年度のため、来館者は目標の3万人を超える6万人を超えたが、施設的に問題が多く、施設の改修も必要に応じて実施する。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 4月27日の開業以来、多くの市民にご利用いただき、利用者も当初予定の年間3万人を大きく超え、6万人以上となり、市民の憩いの場として活用されている。いくつかの課題がありますので、課題解決に向け取り組み、今後も多くの皆様に利用していただけるよう努めていく。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 来館者数3万人 ● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった | |
| 目標どおり達成出来たが、施設改修が必要となることから、4市で協議をして早急な対応が必要となる。また、団体割引、回数券についても検討する必要がある。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|--------------------|----|----|----|------|--------|------------------------|---------|
| 事務事業名 | 9-16 防犯灯設置維持管理事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 市民活動支援課 |
| 施策名 | 9 | 命を守り安心して暮らせるしくみづくり | | | | 担当名 | 市民生活担当 | 課長名 | 宇佐美 正博 |
| 法令根拠 | 笛吹市LED防犯灯交換費補助金交付要綱 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 期間限定複数年度(H28年度～H33年度) | |
| | 01 | 02 | 01 | 12 | 01 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

◇事務事業の概要と実績

・行政区管理8,000基(うち800基LED化済み)ある防犯灯について、現状の蛍光灯照明からLED照明機器更新の推進を行う。申請に基づき補助金を交付する。◆単年1500基(29年度計画)(28年度当初計画では1300基)／6年間で7200基を更新(工事費の1/2を補助、上限1万円)
 【29年度】LED化実績報告112行政区、交換基数1572基
 【28年度】LED化実績報告114行政区、交換基数1365基
 ・各地域からの要望により防犯灯の新設及び修繕等維持管理を行い、路上犯罪等の防止を図る。

◇主な事業費(単位:千円)

主な事業費(単位:千円)
 ・需用費3,509 工事請負費3,660 補助金14,990
 ◆29年度LED更新予算拡充
 13000千円(H28)⇒15000千円

| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
|----------------|-----------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 341 | 39 |
| | | 一般財源 | 千円 | 7,903 | 6,133 | 6,597 | 20,223 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 7,903 | 6,133 | 6,938 | 20,262 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.40 | 0.40 | 0.40 | 0.40 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 2,654 | 2,744 | 2,744 | 2,786 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 10,557 | 8,877 | 9,682 | 23,048 | |
| 補助事業等 | | まちづくり基金繰入金 | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

LED照明機器更新補助事業については、2年目となり、計画どおり順調に事業が執行されている。各行政区では、防犯灯の電気代や維持管理費が負担となっていることから、電気代節減による地域の負担の軽減、環境にやさしいまちづくりが図れることを各行政区に理解していただくことに務め、各行政区の理解があり予定を上回る申請があり事業を行なえた。今後も行政区と連携を図り要望に対応していく。また、未実施の行政区もあることから今後も地域に対して説明をする必要がある。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

市民生活を安心・安全に継続していくためには、重要な事業である。行政区との連携の中、LED化は速やかに実施し、市の管理している防犯灯も計画的にLED化にしていく。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 LED交換基数1500基

● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった

※初年度(H28)に引き続き、継続事業二年目としても、LED実績報告112行政区、交換基数1572基となり、予算の範囲内で最大限の執行ができ更新化が進められた。行政区長をはじめ、関係者のご理解ご協力のもと、事業の目的が幅広く浸透されてきたものと考えている。

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|--------------------|----|----|----|------|--------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 9-17 運転免許証自主返納事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 市民活動支援課 |
| 施策名 | 9 | 命を守り安心して暮らせるしくみづくり | | | | 担当名 | 市民生活担当 | 課長名 | 宇佐美 正博 |
| 法令根拠 | 笛吹市運転免許証自主返納支援事業実施要綱 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H28年度～) | |
| | 01 | 02 | 01 | 11 | 13 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|--|---|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| <p>◇事務事業の概要と実績</p> <p>近年、高齢者ドライバーに関連する交通事故が増加傾向である。こういった事故の減少を目的に高齢者又は運転に自信のなくなった方を対象として運転免許証自主返納制度の活用を推進する。</p> <p>返納にあたり一人1万5千円分(利用期限:1年間)のタクシー券を交付する。</p> | <p>◇主な事業費(単位:千円)</p> <p>需用費47 補助金1,345 返納者112名(H30.3.14日現在)年度末見込者数120名 《65歳以上:110名/65歳未満:2名》 《男57名・女55名》 【H28年度】 需用費50 補助金958 返納者154名 《65歳以上:149名/65歳未満:5名》 《男88名・女66名》</p> |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,008 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,008 | 1,392 |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.20 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,393 | 1,393 |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 2,401 | 2,785 |
| 補助事業等 | | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| <p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>運転免許証返納によるタクシー券申請者は、平成29年度は112名であり順調に事業が推進できている。高齢者等の交通事故防止を図るため、山梨県において運転免許証の自主返納制度が実施されているが、車社会の県内においては普及がなかなか進まないが、この事業により運転が不安な方の返納のきっかけ作りとして交通安全に寄与している。今後も広報紙、高齢者交通安全教室等を通じ自主返納制度のPRを行なっていく。</p> | <p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>運転免許証の自主返納制度は、高齢者等の交通事故防止を目的として重視していることから、目的を達成した後の事業終結のあり方特に、交通手段としての支援をどのように繋いでいくかを関係部署と協議をしていく。</p> |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 返納による申請者 100名 | |
| <p>● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった</p> | |
| <p>※本事業の推進について、笛吹警察署と連携を図る中、目標申請受付人数100名に達したとともに、市内事故発生件数も減少傾向で推移している。◇返納によるタクシー券申請者112名(H30.3.14現在) ◇運転免許証自主返納者数(笛吹警察署窓口扱い) 平成27年111名、平成28年174名、平成29年176名 ◇市内事故発生件数 平成27年368件、平成28年337件、平成29年309件</p> | |

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|------------------|----|----|----|------|--------------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 11-32 ごみ減量化推進事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 環境推進課 |
| 施策名 | 11 | 美しい環境を大切にする社会づくり | | | | 担当名 | ごみ減量担当 | 課長名 | 中山 勲 |
| 法令根拠 | 廃棄物処理法 | | | | | 個別計画 | ごみ減量アクションプラン | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 04 | 03 | 01 | 03 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|--|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 ごみ減量化と分別意識の向上を図るため、ごみ分別説明会を開催し、ごみ減量に関わる周知・広報活動を行う。 また、平成29年4月から、排出量に応じた費用負担ので排出抑制が働く効果による、ごみの減量化、統一袋の導入を目的に、有料ごみ袋を導入し、可燃ごみの減量を行う。 | ◇主な事業費(単位:千円) ・需用費 2,052 ・委託料 40,136 ・使用料及び賃借料 1,426 ・負担金補助及び交付金 800 |

| | | | | | | | | |
|-------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 31,200 | |
| | | 一般財源 | 千円 | 3,092 | 3,125 | 1,991 | 37,883 | 3,800 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 3,092 | 3,125 | 1,991 | 37,883 | 35,000 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 19,905 | 20,580 | 20,580 | 20,895 | 20,895 | |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 22,997 | 23,705 | 22,571 | 58,778 | 55,895 | |
| 補助事業等 | | 有料指定ごみ袋手数料収入 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

有料指定ごみ袋の導入効果として、導入している自治体では、2割程度の減量が図られているが、リバウンド等も報告されている。笛吹市では、平成29年4月から有料指定ごみ袋を導入し、導入における減量と併せ、ごみの分別における減量、市内行政区等において、ごみ分別説明会を実施してきた。平成16年度を基準年として、ごみ53%減量の目標を掲げ取り組んできたが、平成29年度の可燃ごみは前年度比で約14%が減量されたことから、基準年から比較すると約37%の減量となった。当時の状況と現状では違うことから、53%減量達成は困難であると思うが、まだまだ減量出来る状況であるため、更なる減量化を図る。また、53%減量についても、状況を踏まえながら見直しを考えていきたい。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

有料指定ごみ袋の導入により、可燃ごみの減量、資源となるミックスペーパー、その他プラスチックは増量となり、導入効果は出ている。今後も市民の皆様にご理解いただけるよう周知等を図っていく。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 最終的には可燃ごみ減量化53%を目標としているが、平成29年度は38%の減量化を目標とした。

○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった

おおむね目標どおり達成できた。今後は53%減量化に向け、更なる住民への周知活動や分別指導を実施していく。

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------|------------------|----|----|----|------|--------------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 11-33 ごみ処理事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 環境推進課 |
| 施策名 | 11 | 美しい環境を大切にする社会づくり | | | | 担当名 | ごみ減量担当 | 課長名 | 中山 勲 |
| 法令根拠 | 廃棄物処理法 | | | | | 個別計画 | ごみ減量アクションプラン | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 04 | 03 | 02 | 02 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|--|---|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 ・ごみ搬出量の削減を目指し、ごみ処理費の削減をはかる。 ・ごみの処理体系、処分先を精査し、効率よく、環境にやさしい事業を目指す。 | ◇主な事業費(単位:千円) ・委託料 135,048 ・負担金補助及び交付金 68,740 |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|---------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 4,500 | |
| | | 一般財源 | 千円 | 367,285 | 382,500 | 365,147 | 294,366 | 180,000 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 367,285 | 382,500 | 365,147 | 294,366 | 184,500 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 19,905 | 20,580 | 20,580 | 20,895 | 20,895 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 387,190 | 403,080 | 385,727 | 315,261 | 205,395 | |
| 補助事業等 | | 有料指定ごみ袋手数料 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 ごみ減量については基本的な理解はされており、有料指定ごみ袋の導入により、ある程度は分別されてはいるが、まだ不十分であり改善の必要がある。ごみ分別説明会を定期的実施し、分別の必要性和減量化を更に周知する必要がある。また、甲府市環境センターへの搬入から、甲府・峡東クリーンセンターへの搬入になったことにより、可燃ごみの減量、処理費等が削減された。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 ごみ収集量を減量するためには、分別を徹底させることが重要である。市民への分別の必要性や減量の重要性をさらに周知していく。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 ごみ減量化53%の推進。平成29年度は38%を目標。分別説明会の実施。 ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった おおむね目標どおり達成できた。可燃ごみの減量化を更に進め、分別説明会を実施していく。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|------------------|----|----|----|------|--------------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 11-34 資源物回収事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 環境推進課 |
| 施策名 | 11 | 美しい環境を大切にする社会づくり | | | | 担当名 | ごみ減量担当 | 課長名 | 中山 勲 |
| 法令根拠 | 再生資源利用促進法、容器包装リサイクル法 | | | | | 個別計画 | ごみ減量アクションプラン | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 04 | 03 | 01 | 30 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|--|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 ・再生資源利用促進法及び容器包装リサイクル法に基づく資源物の分別を行う。 ・地区へ資源物の収集量に応じて奨励金を交付する。 | ◇主な事業費(単位:千円) ・報償費 32,650 ・需用費 200 ・委託料 4,808 |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| | | 県支出金 | 千円 | | | | | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | |
| | | その他 | 千円 | 18,861 | 14,880 | 20,293 | 19,656 | 19,000 |
| | | 一般財源 | 千円 | 14,887 | 20,283 | 9,908 | 8,003 | 8,000 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 33,748 | 35,163 | 30,201 | 27,659 | 27,000 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 19,905 | 20,580 | 20,580 | 20,895 | 20,895 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 53,653 | 55,743 | 50,781 | 48,554 | 47,895 | |
| 補助事業等 | | 有料指定ごみ袋手数料・資源物販売代金 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|---|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 平成29年度から行政区への資源物回収奨励金を1キロ7円に増額した。資源物の回収量が増えるごとに奨励金の増につながるが、財源である資源物販売代金の下落、資源処理保管コストの見直しと販売ルート見直しも必要となる。また、スーパーなどでも資源物の回収を行っているため、行政区への奨励金の影響が懸念される。 | 2次評価者【部長・消防長・支所長】 資源物の回収は行政だけでなく、民間事業者でも実施しているが連携がなかなか取りにくい現状である。地域への奨励金との関係もあるので、できるだけ市民にとって何が良いの見直す必要がある。 |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 ごみ減量化53%の推進。平成29年度は38%を目標。分別説明会の実施。 ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった | |
| 有料ごみ袋の導入により、分別意識が高まってきていることから、資源物の収集量が大幅に増加した。一方、スーパーなどの民間事業者でも回収を行っているため、今後も引き続き、行政回収の必要性を理解してもらえるよう広報活動等を継続的に実施していく。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|------------------|------------------|----|----|----|------|-------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 11-35 衛生対策事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 環境推進課 |
| 施策名 | 11 | 美しい環境を大切にする社会づくり | | | | 担当名 | 環境担当 | 課長名 | 中山 勲 |
| 法令根拠 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 04 | 04 | 03 | 01 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | | | | | | | | |
|--|-----------|----------------------|---|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | | | | | | | | |
| ◇事務事業の概要と実績 | | | ◇主な事業費(単位:千円) | | | | | |
| ・河川、地下水の水質検査を行い水質汚染の状況を早期に把握し水環境の保全に努める。 ・不法投棄物の収集、処理、防止活動により快適な住環境整備の推進を図る。 実績 河川、地下水の水質検査実施 家電リサイクル特別収集の実施、不法投棄パトロールの実施 防犯カメラによる不法投棄多発場所の監視 | | | 委託料 河川、地下水水質検査 1,390千円 家電リサイクル特別収集 564千円 不法投棄物収集、処理 1,240千円 備品購入費 不法投棄監視用防犯カメラ 324千円 | | | | | |
| (2) 総事業費の推移 | | | | | | | | |
| | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,800 | |
| | | 一般財源 | 千円 | 4,561 | 4,204 | 3,050 | 2,573 | 4,877 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 4,561 | 4,204 | 3,050 | 2,573 | 6,677 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 1,327 | 1,372 | 1,372 | 1,393 | 1,393 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 5,888 | 5,576 | 4,422 | 3,966 | 8,070 | |
| 補助事業等 | | H29年度特定財源 有料指定ごみ袋手数料 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 笛吹市の環境保全を引き続き維持するため、笛吹市環境基本計画に基づいて、環境施策を計画的に実施する。具体的には、河川・地下水水質検査を行い、水環境の保全に努めるとともに、不法投棄パトロール、投棄防止ネットフェンスの設置等により住環境を整備する。また、平成29年度に不法投棄防止監視カメラを購入したこと、更に平成30年度にもカメラの増台を予定していることから、防犯カメラ設置や、市民への貸し出し等を行い、不法投棄防止を図る。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 市内の限られた資源や自然を守るため、市民や事業者などと協働することなど、市全体で考えていく事業と考えます。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 河川35箇所、地下水58箇所において、環境基準値内の保持(分析項目:河川9項目、地下水17項目) | |
| ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった | |
| 生活雑排水の汚濁、不法投棄物の収集・処理について、限られた資源や自然を守るため、市民に必要性を理解していただき、市民や事業者などと協働で環境保全活動を図り、快適な住環境整備の推進を図る。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|----|----|----|----|------|----------------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 13-37 特定健診等事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 国民健康保険課 |
| 施策名 | 13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり | | | | | 担当名 | 国保保健指導担当 | 課長名 | 梶原 強 |
| 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 | | | | | 個別計画 | 第2期特定健康診査等実施計画 | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H20年度～) | |
| | 11 | 08 | 01 | 01 | 10 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | | | | | | | | |
|--|-----------|-----------------------------|--------------|-------------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | | | | | | | | |
| ◇事務事業の概要と実績 | | | | ◇主な事業費(単位:千円) | | | | |
| ◇笛吹市国民健康保険被保険者の生活習慣病の予防、疾病の重症化防止、及び生活習慣病に起因する医療費の削減を目的とする。 ◇特定健診は、集団健診、個別医療機関健診、国保人間ドックを実施する。健診の結果から特定保健指導を実施する。 特定健診受診率・特定保健指導終了率の向上。 受診率、指導率ともに60%を目標。H29年度の法定報告値は未確定。 (実績)法定報告 特定健診 受診率 H27 47.3% H28 48.0% 特定保健指導 終了率 H27 49.0% H28 51.6% | | | | 特定健診 委託料 38,879千円 | | | | |
| (2) 総事業費の推移 | | | | | | | | |
| | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 14,911 | 12,295 | 11,948 | 12,170 | 12,161 |
| | | 県支出金 | 千円 | 10,679 | 11,025 | 10,601 | 10,926 | 11,234 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 5,339 | 5,512 | 5,301 | 5,463 | 5,617 |
| | | 一般財源 | 千円 | 16,131 | 15,030 | 15,758 | 14,909 | 14,089 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 47,060 | 43,862 | 43,608 | 43,468 | 43,101 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 4.50 | 4.50 | 2.70 | 2.70 | 2.70 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 29,858 | 30,870 | 18,522 | 18,806 | 18,806 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 76,918 | 74,732 | 62,130 | 62,274 | 61,907 | |
| 補助事業等 | | 特定健診等事業(国庫・県費) 国保保健事業(国) | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|--|-------------------------------------|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、保険者に糖尿病等の生活習慣病に着目した特定健康診査及び特定保健指導の実施と、特定健診及び特定保健指導の計画の策定が義務付けられた。市では、5ヵ年計画の特定健診等実施計画を策定し、特定健康診査等基本指針に掲げる参酌標準をもとに、笛吹市国民健康保険における目標値を設定し、計画的に受診率及び指導率の向上を図っている。国の設定した目標値には達していないが、平成20年度と比べ特定健診受診率は12.8%、特定保健指導率は24.0%上昇している。また平成28年度山梨県の特定健診受診率 43.8%、特定保健指導率 47.2%を上回っている。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 国民健康保険財政の安定化を勧めるには、医療費の削減が条件である。市民が病気にかからない健康な状態を維持することや病気が重症化しないことが不可欠であり、予防という意識づけが重要である。平成30年度からは特定健康診査・特定保健指導の制度も一部改正される為、さらに健診の受診勧奨や予防事業への参加を推進する。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 | 平成28年度法定報告値 特定健診受診率57%・特定保健指導終了率60% |
| <input type="radio"/> 目標どおり達成できた <input type="radio"/> おおむね達成できた <input checked="" type="radio"/> 達成できなかった | |
| 平成28年度法定報告値(平成29年10月作成)特定健診受診率 48.0%・特定保健指導終了率51.6%と、目標値を未達成のため。各種健診希望調査の回収率も64.4%であり、全市民から回収できなかった。直営で実施する集団健診による特定保健指導は、ほぼ全員に初回面接を実施しているが、国保人間ドック及び個別医療機関健診は、特定保健指導を受託する医療機関が限られ、利用率が低い状況である。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|----|----|----|----|------|------------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 13-38 国保データヘルス事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 国民健康保険課 |
| 施策名 | 13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり | | | | | 担当名 | 国保保健指導担当 | 課長名 | 梶原 強 |
| 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 | | | | | 個別計画 | 国保データヘルス計画 | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H28年度～) | |
| | 11 | 08 | 02 | 02 | 10 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | | | | | | | | |
|--|-----------|------------|--------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|-------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | | | | | | | | |
| ◇事務事業の概要と実績 | | | | ◇主な事業費(単位:千円) | | | | |
| データヘルス計画に基づき、レセプトによる分析、「糖尿病重症化予防事業」、「各種受診勧奨事業」、「管理栄養士派遣事業」を実施した。レセ分析、糖尿病重症化予防事業、各種受診勧奨事業:保健指導会社に委託して事業を行った。対象者90名中、プログラム参加者は8名で、指導率は8.8%であった。 管理栄養士派遣事業については、県栄養士会と業務委託契約を行い、管理栄養士が在籍しない市内6医療機関で医師の指示のもと栄養指導を行った。 | | | | 委託料 9,204千円 | | | | |
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 6,264 | 6,959 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 788 | 2,533 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 7,052 | 9,492 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 0.50 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 3,483 | 3,483 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 10,535 | 12,975 | |
| 補助事業等 | | 国保保健事業(国庫) | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 平成25年「日本再興戦略」において、被保険者に対しレセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画である「データヘルス計画」の策定が義務づけられた。市では平成27年度に3カ年計画のデータヘルス計画を策定し、データヘルス事業として、主に生活習慣病重症化予防を中心とした保健事業を実施している。医療費の抑制には様々な要因があるため、短期間で医療費の抑制ができたか判断は難しいが、高額な医療費のかかる人工透析治療導入の抑制、脳血管疾患・心疾患の発症の抑制に必要な事業である。また、保険者努力支援制度の加算事業であるため、引き続き取り組む事業であると考ええる。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 生活習慣病の予防・重症化防止やがんの早期発見・早期治療のために分析されたデータを活用し、地域性などを考える中で笛吹市の市民に合った事業や手法を展開していく。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 糖尿病重症化予防事業の指導実施率20% ○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった | |
| データヘルス事業の主要事業である「糖尿病性腎症重症化予防事業」は、先進地の事例を踏まえ指導実施率20%を目標としているが、平成29年度の指導率は8.8%であった。この事業に関しては見直しが必要である。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|--------------------|----|----|----|------|----------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 13-39 国保人間ドック事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 国民健康保険課 |
| 施策名 | 13 | 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり | | | | 担当名 | 国保保健指導担当 | 課長名 | 梶原 強 |
| 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H21年度～) | |
| | 11 | 08 | 02 | 02 | 10 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|-----------------------------------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 生活習慣病等の予防・重症化防止、がんの早期発見・早期治療による医療費の抑制を目的として実施する。 (対象者) 笛吹市国民健康保険加入者 (助成金) 男性20,000円、女性22,000円 (実施機関) 11医療機関 H28年度 実績 2,176人 H29年度 見込(H30.3.31) 2,193人 | ◇主な事業費(単位:千円) 委託料 32,119千円 |

| | | | | | | | |
|----------------|----------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 27,599 | 28,369 | 28,369 | 32,188 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 27,599 | 28,369 | 28,369 | 32,188 | 32,119 |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 3,318 | 3,430 | 3,430 | 3,483 | 3,483 |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 30,917 | 31,799 | 31,799 | 35,671 | 35,602 |
| 補助事業等 | | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 平成20年度から40歳～64歳を対象に、10医療機関で8ヶ月間実施していたが、農繁期を迎える前に人間ドックを受けたい、希望日に予約が取りにくい等の意見から、11医療機関で通年の実施期間に事業を拡大したため、市民からの人間ドックを受診しにくい等の苦情は減少している。委託医療機関には各種検査に加え、精密健康診査や治療が必要な対象者に、受療の確認と未受療者への受療勧奨を実施している。今後も、医療費の抑制と生活習慣病の重症化予防に必要な事業である。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 生活習慣病の予防・重症化予防の方法の一つとして、国保人間ドック事業があるので、市民にその有効性や必要性をしっかりと周知して受診率の向上を目指す。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 国保人間ドックの受診者数 前年度 2,176 人と比べ、100人増の年間 2,276 人を目指す。 ○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった | |
| 平成29年12月末の受診者 1,703人に加え、1月・2月・3月分の受診者が 490人見込となるため、2,193人の受診者となる見込みである。前年度より17人増となる見込みであるが、目標の年間2,276人には届かなかった。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|-----------------------|----|----|-----|------|----------------------------------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 15-63 後期高齢者特定健診事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 国民健康保険課 |
| 施策名 | 15 | 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり | | | | 担当名 | 国保保健指導担当 | 課長名 | 梶原 強 |
| 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 | | | | | 個別計画 | 山梨県後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画(データヘルス計画) | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H20年度～) | |
| | 01 | 03 | 01 | 03 | 190 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|--|---------------------------------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく、後期高齢者を対象とした健康診査事業。 対象者:山梨県後期高齢者医療保険加入者 集団健診方式で市内7ヶ所を実施 4月～11月(50日間) H28年度 実績 受診者数 1,871人 受診率 21.1% 被保険者数 8,810人 H29年度 実績 受診者数 1,969人 受診率 21.7% 被保険者数 9,054人 | ◇主な事業費(単位:千円) 健診委託料 16,038千円 |

| | | | | | | | | |
|----------------|----------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他 | 千円 | 4,703 | 4,962 | 5,338 | 5,554 | 5,700 |
| | | 一般財源 | 千円 | 8,639 | 8,887 | 9,540 | 9,987 | 11,100 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 13,342 | 13,849 | 14,878 | 15,541 | 16,800 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 3,318 | 3,430 | 3,430 | 3,483 | 3,483 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 16,660 | 17,279 | 18,308 | 19,024 | 20,283 | |
| 補助事業等 | | 後期高齢者医療(健康診査)補助金 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 山梨県後期高齢者医療広域連合の策定した保健事業実施計画に基づき、市が実施主体となり後期高齢者健康診査を実施し、広域連合は補助金を交付している。後期高齢者健康診査は、生活習慣病の発見の遅れや重症化を防ぐとともに、後期高齢者が自らの健康状態を確認することによって、適切な療養の維持や要介護状態の予防を図る目的がある。今後は、ニーズのある後期高齢者の人間ドックの実施も検討する必要がある。 | |
| 2次評価者【部長・消防長・支所長】 他の健診と同様に、後期高齢者への健診の必要性をしっかりと周知し、ニーズのある後期高齢者人間ドックの実施も視野に入れながら受診率の向上を目指す。 | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 後期高齢者健康診査受診者数 前年度 1,871人と比べ、100人増の年間1,971人を目指す。 ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった | |
| H28年度の受診者は1,871人、H29年度は1,969人と前年度より 98名増加した。H29年度の受診率は21.7%であった。受診率としてはH28年度より0.6ポイント増加した。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|-----------------------|----|----|-----|------|----------------------------------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 15-64 後期高齢者歯科口腔健診事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 国民健康保険課 |
| 施策名 | 15 | 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり | | | | 担当名 | 国保保健指導担当 | 課長名 | 梶原 強 |
| 法令根拠 | 高齢者の医療の確保に関する法律 | | | | | 個別計画 | 山梨県後期高齢者医療広域連合保健事業実施計画(データヘルス計画) | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H27年度～) | |
| | 01 | 03 | 01 | 03 | 190 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|------------------------------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 歯科健診は、平成27年度から新規事業として実施している。山梨県歯科医師会と契約し、市内26歯科医院に委託。(個別健診) 対象者: 笛吹市に在住の山梨県後期高齢者医療保険加入者 平成28年度 実績 受診者数 608人 対象者数 4,569人 受診率13.3% H29年度 目標値 750人 実績(H30.3月現在) 受診者数 515人 対象者数 4,624人 受診率 11.1% | ◇主な事業費(単位:千円) 委託料 2,600千円 |

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 1,232 | 1,344 | 1,344 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 1,383 | 1,290 | 1,423 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 2,615 | 2,634 | 2,767 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 3,430 | 3,483 | 3,483 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 0 | 0 | 6,045 | 6,117 | 6,250 | |
| 補助事業等 | | 後期高齢者医療(健康診査)補助金 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|---|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| 1次評価者【課長・局長】 山梨県後期高齢者医療広域連合が策定した保健事業計画(データヘルス計画)に基づき、市が実施主体となり後期高齢者歯科口腔健診を実施し、広域連合は補助金を交付している。後期高齢者歯科口腔健診は、後期高齢者の主要な死因の一つである嚥下性肺炎を予防する目的で実施している。また、口腔ケアへの関心が高まり歯の喪失の予防に繋がることで、介護予防への効果が期待できる。今後、後期高齢者の増加と、70歳まで実施している歯周疾患検診の受診者が後期高齢者になることから、更なる受診者の増加が期待できる。 | 2次評価者【部長・消防長・支所長】 平成27年度からスタートした事業であることから、今まで以上に後期高齢者へ歯科口腔健診の重要性などをしっかり広報紙等で周知していく。 |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| 目標 後期高齢者歯科口腔健診の受診者 年間750人を目指す。 ○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった | |
| H28年度の受診者は608人、H29年度(H29.11までの実績)は417人で、12月分が68人の見込みで合計515人となり、前年度より93人 減少した。対象者は4,624人で、受診率は11.1%であった。目標の年間受診者750人には届かなかった。 | |

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------|---------------------|----|----|----|------|--------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 17-68 消費者行政事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 市民活動支援課 |
| 施策名 | 17 | 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり | | | | 担当名 | 市民生活担当 | 課長名 | 宇佐美 正博 |
| 法令根拠 | 消費者安全法 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H29年度～) | |
| | 01 | 02 | 01 | 13 | 01 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

| | |
|---|---|
| <p>◇事務事業の概要と実績</p> <p>◇消費者がどこに住んでいても質の高い相談・救済を受けられ、安全・安心が確保される地域体制を整備することを目的に、消費生活センターを設置し、消費生活相談員を置く。</p> <p>◇平成29年8月に消費生活センターを設置。開設日を週5日、開設時間は、9時～4時とし、消費生活相談員は、週4日1名を配置。</p> <p>◇相談件数 85件(H29.8～H30.2末日現在)</p> | <p>◇主な事業費(単位:千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済費 217 ・旅費 19 ・役務費 84 ・工事請負費 1,700 ・負担金、補助及び交付金 14 ・賃金 1,455 ・需用費 220 ・委託料 50 ・備品購入費 430 |
|---|---|

| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
|----------------|-----------|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,695 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,550 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,245 |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.20 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,393 |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,638 |
| 補助事業等 | | 消費者行政推進交付金等市町村事業費補助金 | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

8月に消費生活センターの設置を行い相談員1名により、相談業務に対応している。相談件数が増え順調に業務が施行できている。国の地方消費者行政強化作戦において、人口5万人以上の全市町は消費生活センターを設置との政策目標から、消費生活センターを設置した。センター設置前の平成28年度における消費者相談件数は年間12件、センター設置後の平成29年8月から平成30年2月末までの相談件数は86件と大幅に相談件数が増えている。資格を持つ専門の相談員を配置したことで質の高い相談対応が行えている。今後も消費者トラブルを未然に防止するため消費者教育や啓発活動、情報提供について積極的に行っていく。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

8月より設置した消費生活センターであるが、相談件数も増え順調に進んでいる。今後も広報等で周知を行い利用しやすい消費生活センターとして消費トラブルの未然防止に努めていく。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

| | |
|----|--|
| 目標 | 消費生活センターの設置及び消費生活相談員の配置 |
| | <input checked="" type="radio"/> 目標どおり達成できた <input type="radio"/> おおむね達成できた <input type="radio"/> 達成できなかった |
| | 平成29年5月より消費生活相談員(嘱託職員)1名を採用。平成29年7月末に相談室を設置し、平成29年8月1日より笛吹市消費生活センターを開設した。 |

| | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|------------------|----|----|----|------|-------------------------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 23-1 男女共同参画推進事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 市民活動支援課 |
| 施策名 | 23 | 市民と行政の協働によるまちづくり | | | | 担当名 | 市民活動支援担当 | 課長名 | 宇佐美正博 |
| 法令根拠 | 男女共同参画社会基本法、男女共同参画推進条例 | | | | | 個別計画 | 笛吹市男女共同参画プラン「輝け男女笛吹プラン」 | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H17年度～) | |
| | 01 | 02 | 01 | 05 | 07 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|--|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 第3次男女共同参画プラン(輝け男女笛吹プラン)の実践を通じて男女共同参画社会の実現を図るための推進事業を通年で実施する。 ・全国の事例が結集する男女共同参画フォーラムへの参加(8月) ・県推進事業への参加 ・男女共同参画推進委員活動の支援(幹事会、部会、全体会) ・各部会推進活動支援(学校、区長会、日赤等市民団体への推進活動、家族の料理教室、企業への推進活動、広報誌への情報掲載等) | ◇主な事業費(単位:千円) ・審議委員報酬 121 ・推進委員謝金30名分 360 ・学習会、研修会講師謝金 70 日本女性会議参加負担金2名分 138 |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 812 | 1,692 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 864 | 599 | 1,631 | 1,229 |
| | 事業費計(A) | 千円 | 1,676 | 2,291 | 1,631 | 1,229 | 879 |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.60 | 0.60 | 1.00 | 1.00 |
| | 人件費計(B) | 千円 | 3,981 | 4,116 | 6,860 | 6,965 | 3,483 |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 5,657 | 6,407 | 8,491 | 8,194 | 4,362 |
| 補助事業等 | | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

第3次男女共同参画プランにより、男女共同参画社会実現に向けた取り組みを男女共同参加推進委員会を中心に行っており推進が進んでいる。推進委員会においては、全国大会や県の研修により知識の習得をして活動に役立てている。また、職場、地域、家庭、広報の4部会によりそれぞれのテーマに沿った活動を活発に行っている。職員においても講師を招き講演会を開催し意識の向上に努めている。男女共同参画審議会において笛吹市における男女共同参画推進状況の調査結果を報告し今後も引き続き推進を図っていく。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

男女共同参画社会の実現に向けての取り組みは、着実に進んでいるが様々な課題を抱えている。推進委員は大変熱意を持って当たっているので、今後は市民に対して更に周知し、男女共同参画の主旨が浸透し、すべての市民が平等で自分らしい暮らしができるように取り組んで行く。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 推進委員会活動(全体会、幹事会、部会、学習会等含む)を月1回以上開催。

● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった

推進委員全体会を年2回、幹事会を年4回、各部会による推進活動及び推進企画検討を、月1回以上行っている。
 ・地域部会=紙芝居上演(境川、八代区長会、市民まつり)、例会、
 ・家庭部会=家族の料理教室による推進活動(2回実施)、例会、
 ・職場部会=企業アンケートの分析、次回企業アンケートの検討、例会
 ・広報部会=広報による推進記事作成、掲載(毎月)

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|------------------|----|----|----|------|----------|--------------------|---------|
| 事務事業名 | 23-2 まちづくり推進事業 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 市民活動支援課 |
| 施策名 | 23 | 市民と行政の協働によるまちづくり | | | | 担当名 | 市民活動支援担当 | 課長名 | 宇佐美正博 |
| 法令根拠 | | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度平成17年度～) | |
| | 01 | 02 | 01 | 09 | 60 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

| | |
|--|--|
| <p>◇事務事業の概要と実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興促進助成金活用団体等市民活動団体対象の情報交換会、ワークショップを7月に開催。 ・市民活動・ボランティアセンターにアドバイザーを配置し、活動を支援。ボランティア養成講座の開催、市ボランティア連絡会との協働による研修会を開催 ・市民活動情報誌年4回発行 ・市民活動補償制度により安心して市民活動支援に取り組める環境を整えた。 ・市民まつりを10月に開催、市民活動団体ブース等にて啓発を図った。 ・地域振興促進助成9事業、ボランティア・NPO助成2事業実施。 <p>※地域振興基金運用益利用</p> | <p>◇主な事業費(単位:千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ボランティアセンターアドバイザー謝金 329 ・市民活動情報誌印刷4回 633 ・市民活動補償制度掛け金 956 ・市民まつりテント等借り上げ 1,076 ・臨時職員賃金 844 ・ポータルサイト保守管理委託 648 ・地域振興促進助成 9事業 4,290 ・ボランティア、NPO助成金 2事業 100 |
|--|--|

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 10,901 | 8,623 | 10,496 | 11,593 | 11,661 |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 110 | 0 | 0 | 0 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 10,901 | 8,733 | 10,496 | 11,593 | 11,661 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 6,635 | 6,860 | 6,860 | 6,965 | 6,965 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 17,536 | 15,593 | 17,356 | 18,558 | 18,626 | |
| 補助事業等 | | 地域振興基金利子 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

市民と行政の協働事業実現に向け、市民活動団体やボランティア団体の活動支援や活動の周知を行ない推進が図られている。特に、ポータルサイト「よっちゃばるネット」や広報誌「よっちゃばる通信」での情報発信に務めている。市民活動・ボランティアセンターにおいて、なんでもカフェなどの事業により課題を取り上げ意見交換や団体間の交流に務めている。また、市民まつりの開催、地域振興促進事業により地域の活動が図られた。今後も団体や地域の課題についてワークショップの開催など協働の推進を進めていく必要がある。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

これからの行政には協働が不可欠である。協働のパートナーである市民の醸成が重要であるので底辺のレベルを上げ市民の自主性を育てる支援に取り組んでいきます。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

| | |
|----|--|
| 目標 | 講座及びWSの開催10回以上。市民活動情報誌発行4回以上。市民活動・ボランティアセンターの利用促進と自主事業 |
| | ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった |
| | 講座、WS 6回、情報誌4回刊行、ボラセン自主事業＝ボラ連協働研修、なんでもカフェ、ボラ養成講座企画運営2メニューボラセン利用者は1月にて28年度年間利用者とはほぼ同数。利用者は着実に伸びている。 |

| | | | | | | | | | |
|-------|---|----|----|----|----|------|--------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 24-5 個人番号カード事務費 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 戸籍住民課 |
| 施策名 | 24 親しみやすく機能的な市役所づくり | | | | | 担当名 | 住民記録担当 | 課長名 | 梶 佳幸 |
| 法令根拠 | 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律 同法施行規則他 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H27年度～) | |
| | 01 | 02 | 03 | 01 | 12 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|--|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| ◇事務事業の概要と実績 個人番号制度導入に伴い、通知カード及び個人番号カードの交付、記載事項修正関連事務を行っています。 | ◇主な事業費(単位:千円) 賃金 7,545 需用費 50 委託料 8,371 償還金、 利子及び割引料 16 計 15,982 |

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 20,359 | 3,718 | 4,070 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 281 | 240 |
| | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 7,312 | 3,601 | 3,485 | |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 0 | 0 | 27,671 | 7,600 | 7,795 | |
| 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 0 | 0 | 6,860 | 6,965 | 6,965 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 0 | 0 | 34,531 | 14,565 | 14,760 | |
| 補助事業等 | | 個人番号カード交付事務費補助金 個人番号カード交付事業費補助金 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| <p>1次評価者【課長・局長】 個人番号制度の導入に伴う、通知カード及び個人番号カードの交付が適正に処理されていた。また、個人番号カードを取得することで身分証明書の機能を有することや全国のコンビニで住民票や印鑑証明書が取得できることを説明し利便性を周知していく。 今後、国が進める「利活用推進ロードマップ」では個人番号カードを健康保険証として利用する計画やマイナポータル構築等が進められているので、個人番号カードの認知度を高めるため効果的な啓発を行っていく必要があるため、関係課と連携して取り組んでいきます。</p> <p>2次評価者【部長・消防長・支所長】 マイナンバー制度の導入については、更に市民への利便性について周知啓発を行い、関係部署との連携を取りながら推進していきます。</p> | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| <p>目標 個人番号カード交付件数 900枚(累計5,570枚) 個人番号カード交付率 7.8%(累計)</p> <p>○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった</p> <p>平成30年2月末現在、個人番号カード交付件数5,456件であり、個人番号カード交付率は7.8%である。3月の1ヶ月があるため、目標はおおむね達成できる見込み。引き続き個人番号カードの普及推進を図っていく。</p> | |

| | | | | | | | | | |
|-------|------------------------------|----|----|----|----|------|--------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 24-6 住民基本台帳事務 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 戸籍住民課 |
| 施策名 | 24 親しみやすく機能的な市役所づくり | | | | | 担当名 | 住民記録担当 | 課長名 | 梶 佳幸 |
| 法令根拠 | 住民基本台帳法 同法施行令 同法施行規則 笛吹市印鑑条例 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 02 | 03 | 01 | 02 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | |
|---|--|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | |
| <p>◇事務事業の概要と実績</p> <p>住民基本台帳事務は、住民基本台帳法に基づき、住民記録の適切な管理と転入、転出、転居、世帯主変更等の届出処理及び各種証明書の発行事務を行う。</p> <p>また印鑑証明事務は笛吹市印鑑条例に基づき、市民の印鑑登録の適切な管理と印鑑登録の受付処理及び証明書の発行事務を行う。</p> | <p>◇主な事業費(単位:千円)</p> <p>賃金 6,213 旅費 18 需用費 1,647 役務費 767 委託料 6,478 使用料及び賃借料 5,616 備品購入費86 負担金、補助及び交付金 5 計 20,830</p> |

| | | | | | | | | |
|-------------|----------------|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,872 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 206 | 597 | 536 |
| | | 一般財源 | 千円 | 27,323 | 11,597 | 11,472 | 14,638 | 15,016 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 27,323 | 11,597 | 11,678 | 15,235 | 18,424 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 4.90 | 4.90 | 4.00 | 3.90 | 3.90 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 32,512 | 33,614 | 27,440 | 27,164 | 27,164 | |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 59,835 | 45,211 | 39,118 | 42,399 | 45,588 | |
| 補助事業等 | | 社会保障・税番号制度システム整備費補助金 | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|---|---|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| <p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>住民基本台帳事務は、住民基本台帳法に基づき市民の住民基本台帳の適正な管理、居住関係の公証を行っている。また、笛吹市印鑑条例に基づき市民の印鑑登録の適正な管理を行っている。それぞれ正確性を確保するため職員の知識向上を目指し、専門研修への積極的な参加を促し人材育成を図っている。</p> <p>証明書発行においては、個人情報保護法の施行に伴い本人確認を厳正に行っている。証明書交付機及びコンビニ交付等で住民票や印鑑証明書が午前6時30分から午後11時まで取得できるようになり、利便性が図られている。今後、所得証明書や戸籍関係の証明書が交付できるように、システム関係の構築費用と利用率について十分検討し進めていく必要がある。</p> | <p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>今後戸籍住民課窓口業務については、限られた財源の下で効率的で質の高いサービスを提供するため、民間的経営手法も参考にした、民間への外部委託ができるのか、全国の動向を研究し笛吹市の規模等にふさわしい導入を検討していく必要がある。</p> |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| <p>目標 住民記録及び転入転出等の届出 10,000件 証明書等発行件数 49,000件 証明書交付機発行件数 16,000件</p> <p>○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった</p> <p>平成30年2月末現在、住民記録及び転入転出等の届出件数9,109件、証明書交付機発行件数15,150件、また平成30年1月末現在、証明書等発行件数38,747件である。2・3月の1ヶ月があるため、目標は達成できる見込み。引き続き住民記録及び転入転出等の届出、証明書発行等適切に処理をしていく。</p> | |

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|----|----|----|----|------|-------|--------------------|-------|
| 事務事業名 | 24-7 戸籍事務 | | | | | 部局名 | 市民環境部 | 所属課 | 戸籍住民課 |
| 施策名 | 24 親しみやすく機能的な市役所づくり | | | | | 担当名 | 戸籍担当 | 課長名 | 梶 佳幸 |
| 法令根拠 | 戸籍法 民法 国籍法 人事訴訟法 | | | | | 個別計画 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 事業期間 | 単年度繰返(開始年度 H16年度～) | |
| | 01 | 02 | 03 | 01 | 06 | 01 | | | |

1 現状把握 (PLAN) (DO)

| | | | | | | | | |
|---|----------------|-----------|--------------|---|--------------|--------------|-----------------|--------|
| (1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績) | | | | | | | | |
| ◇事務事業の概要と実績 | | | | ◇主な事業費(単位:千円) | | | | |
| <p>戸籍は出生から死亡に至るまでの身分関係と日本国籍を公証するものです。戸籍簿の適正な管理及び各種届出等の受付、審査、記載作成、除籍等を行うとともに、各種戸籍事項証明書の発行及び埋火葬許可証等発行する事務を行う。戸籍に関連する事務(民事事項関係事務、在外選挙人名簿登録事務等)を行う。</p> | | | | <p>旅費 3 需用費 840 役務費 59 委託料 6,701 使用料及び賃借料 3,759 負担金、補助及び交付金 37 計 11,399</p> | | | | |
| (2) 総事業費の推移 | | 単位 | 25年度 (決算) | 26年度 (決算) | 27年度 (決算) | 28年度 (決算) | 29年度 (決算見込み) | |
| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 千円 | 14,238 | 33,558 | 14,808 | 11,371 | 11,380 |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 14,238 | 33,558 | 14,808 | 11,371 | 11,380 | |
| | 人件費 | 正規職員延従事人数 | 人 | 4.90 | 3.90 | 4.00 | 4.90 | 4.90 |
| | 人件費計 (B) | 千円 | 32,512 | 26,754 | 27,440 | 34,129 | 34,129 | |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 46,750 | 60,312 | 42,248 | 45,500 | 45,509 | |
| 補助事業等 | | | | | | | | |

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

| | |
|--|--|
| (1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載 | |
| <p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>戸籍事務は、国の法定受託事務として、法や政令に基づき各種届出等の受付、審査、記載作成、除籍等を行うとともに、各種戸籍事項証明書の発行等適切に事務処理を行っている。国民の親族的身分関係を登録する戸籍事務は、専門的知識を必要とすることから知識の向上を目指し、研修への積極的な参加を促し人材育成に努めて、正確に処理していきます。</p> | |
| <p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>国の法定受託事務であることから、法や政令を遵守し適正に処理をしていく。</p> | |
| (2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載) | |
| <p>目標 戸籍届出件数 3,400件 証明書等発行件数 27,000件</p> <p>○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった</p> <p>平成30年1月末現在、戸籍届出件数は、2,875件、証明書等発行件数は、22,857件である。2・3月の2ヶ月があるため、目標は達成できる見込み。引き続き戸籍届出の受付、各種戸籍証明書の発行等適切に処理をしていく。</p> | |